

志賀原子力発電所1号機 原子炉冷却材再循環系配管の取替工事終了について

平成15年11月10日
北陸電力株式会社

今回の定期検査において、7月6日から9月9日の間に原子炉冷却材再循環系配管^(注1)等の溶接部95箇所について超音波探傷検査^(注2)により点検した結果、A系とB系合わせて合計6箇所の配管溶接部の内表面にひびを確認しました。(9月10日お知らせ済み)

ひびが確認された6箇所は、9月17日から配管の切断作業を開始し、昨日(11月9日)、新品配管への取替工事を終了しました。

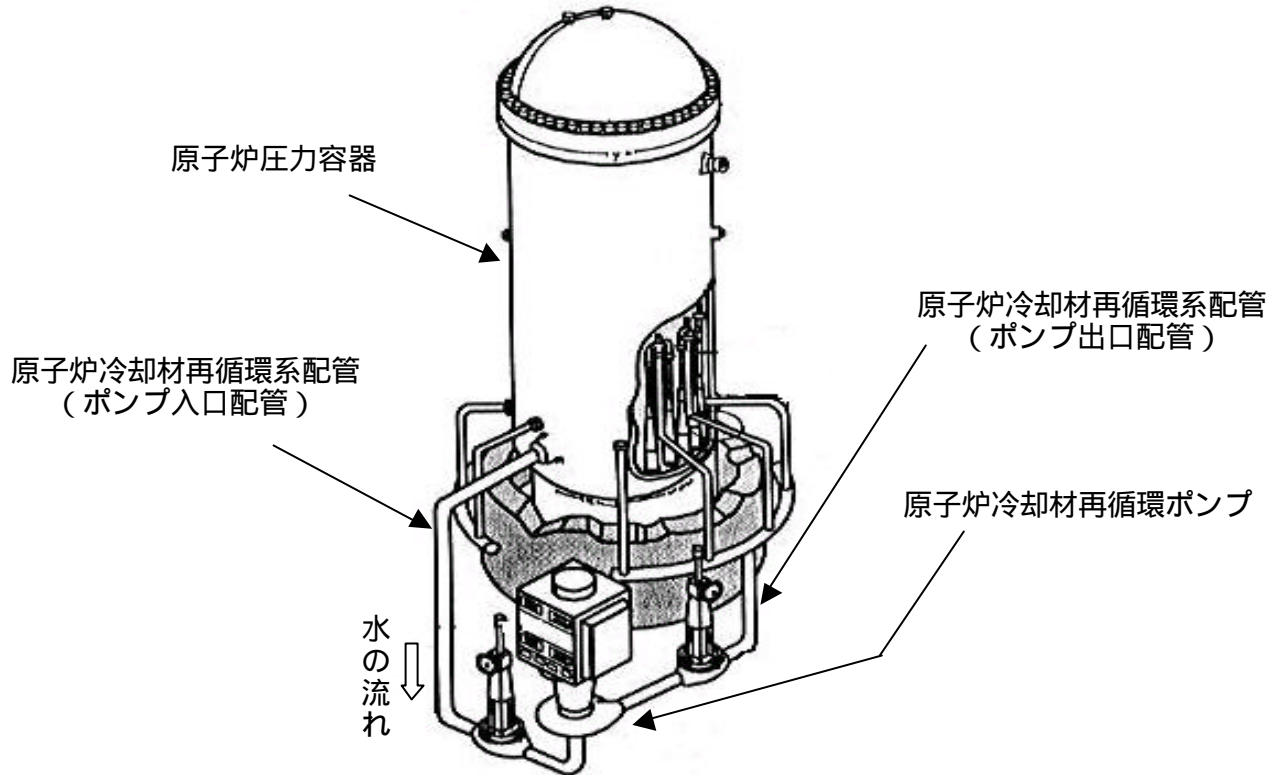
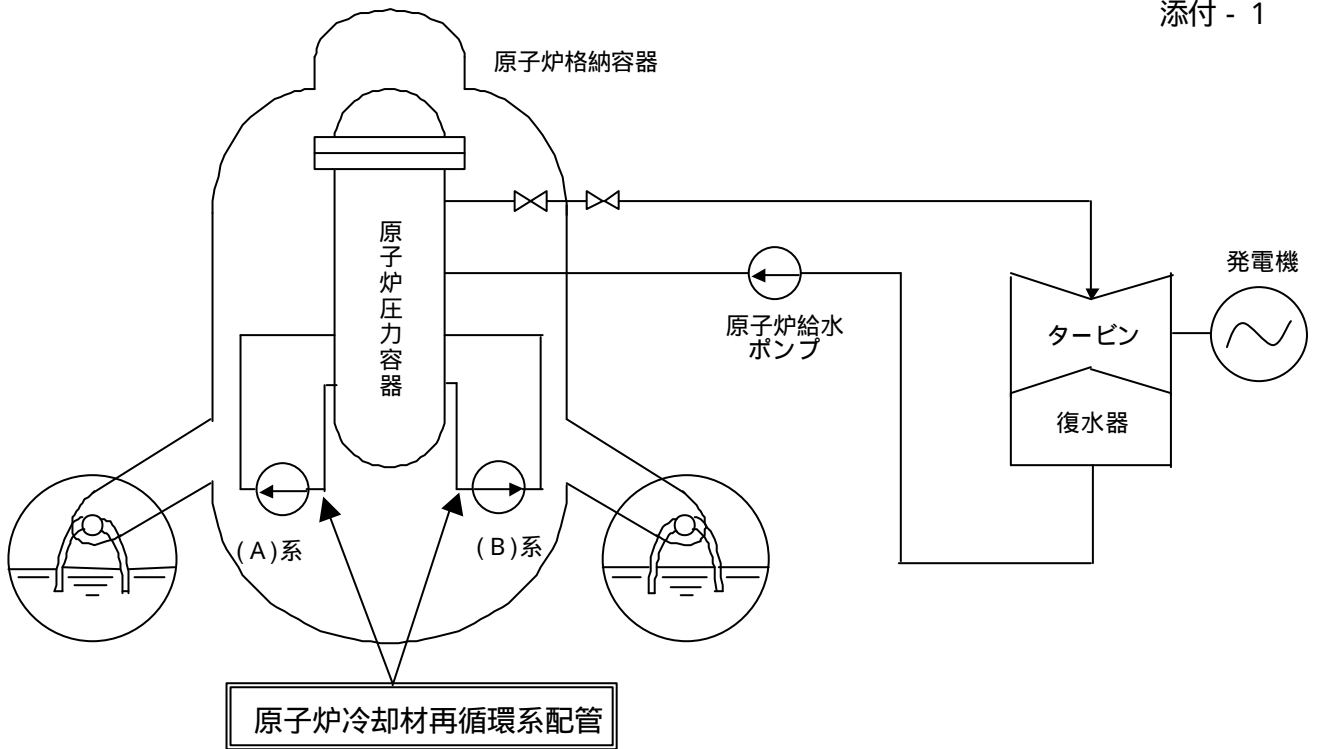
なお、今後、同配管の耐圧試験を実施し、健全性を確認します。

また、今後、安全を最優先に原子炉起動準備等を行い、12月中旬に発電を開始し、来年1月上旬に定期検査を終了する予定です。

以 上

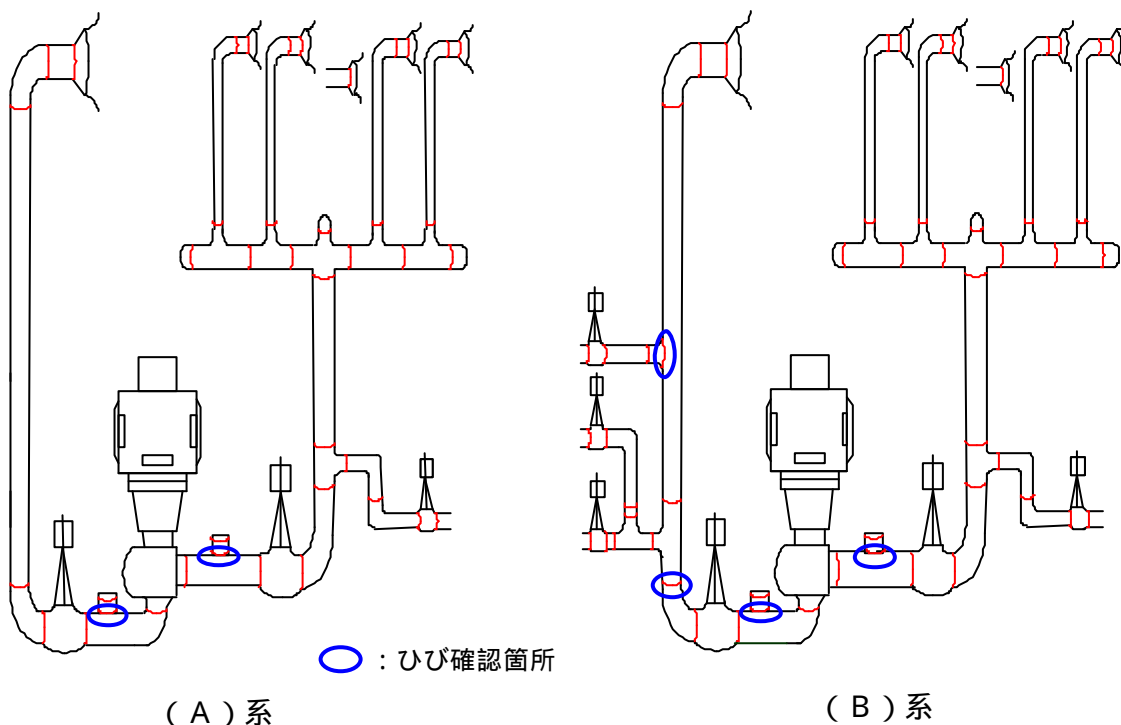
(注1) 原子炉冷却材再循環系配管とは、原子炉冷却水を循環させるためのポンプと原子炉を結ぶ配管であり、(A)系と(B)系の2系統があります。

(注2) 超音波探傷検査(UT)とは、材料の内部欠陥(ひび)を検出するための検査であり、検査対象部位に超音波を入射し、反射波を測定することにより、内部の状態を見るものです。

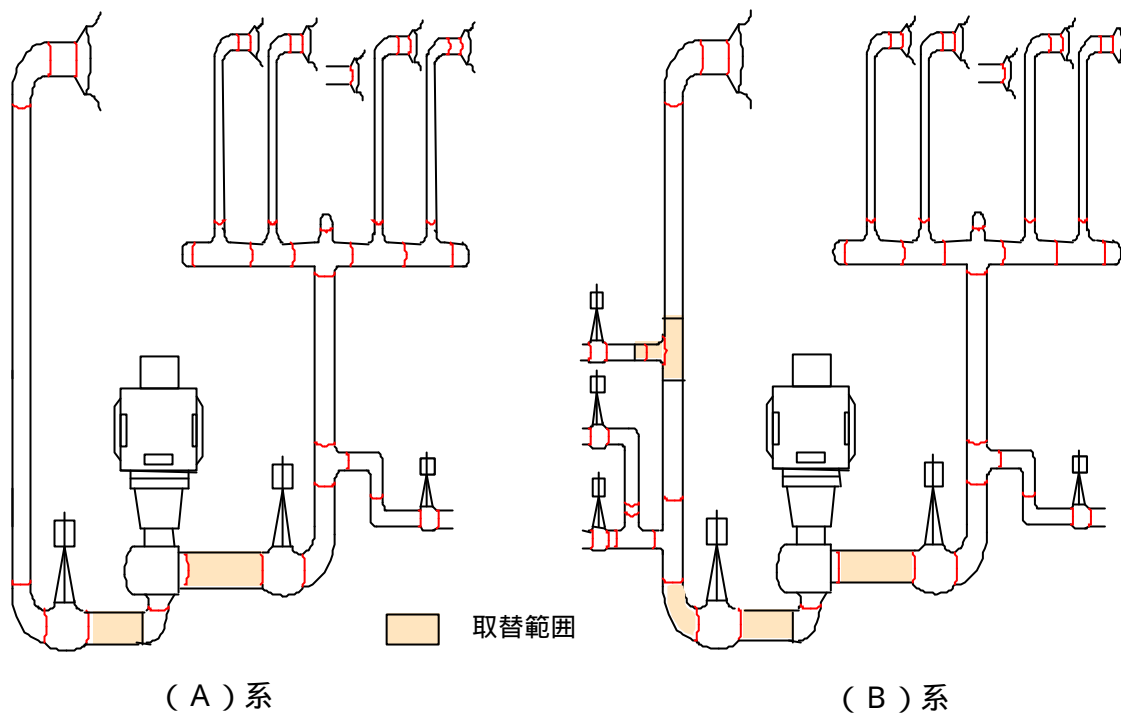


原子炉冷却材再循環系配管 概要図

原子炉冷却材再循環系配管ひび確認箇所



原子炉冷却材再循環系配管取替箇所



当該配管は、枝管のない配管と取替えた。

取替した箇所の溶接部は、応力腐食割れの予防保全対策の水冷却等を実施しました。